

ワイス ナウ WAICE NOW

Wadayama Association of
International Cultural Exchange

わだやま国際文化交流協会

事務局 朝来市市民文化部和田山地域振興課
朝来市和田山町東谷213-1

TEL 079-672-6137
FAX 079-672-1334

日本語研修生の思い出と現況

わだやま国際文化交流協会

会長 垣尾 幸博

寒さが厳しい日々が続いております。わだやま国際文化交流協会の会員の皆さまをはじめ、関係者の皆さまにおかれましては、ますます御健勝のことと存じます。

日ごろからの皆さまの多大なる御協力のおかげをもちまして、今回もワイスナウを発行することができました。

さて、昨年で30年の節目を迎えた内蒙古自治区との交流についてですが、教育視察団の派遣、そして日本語研修生の受入が急遽、諸般の事情により今年度は中止せざるをえない状況となりました。

いろいろな事情があると推察する段階ではありますが、これまでの積み上げてきた交流の実績を大切にしながら、更なる充実に向けて現在、関係者と協議を進めております。

例年は、内蒙古自治区訪問の様子や、日本語研修生受入の様子を掲載させていただいておりますが、今回のワイスナウ44号では、過去に受け入れました研修生や引率いただいた先生方の近況を御報告させていただきます。内蒙古から朝来市を訪れ、約1ヶ月の日本語研修期間を過ごされた研修生たちが、朝来市での思い出や、今後の夢などを記しています。

これからも、朝来市での研修の経験を活かして、様々な分野で活躍されますことを心より期待します。

平成最後の年となり、これから新しい時代を迎えます。関係者の皆さまのますますの御健勝を祈念申し上げ、ワイスナウ44号発行にあたっての御挨拶といたします。

胡悄（フーチャオ） 【平成19年度 第17次日本語研修生】



現在、ユニクロの生産部で生産管理の仕事をしています。毎日忙しいですが、自分が担当している服を見ていると、すごく楽しく感じます。今後はもっと高い目標を持ち、アパレル業界で頑張っていきたいです。例えば、生産管理のみではなく、会社のリーダー、部長、或いは会社の管理者として、頑張っていきたいと思います。

和田山で研修をしたりホームステイで過ごした時間はものすごく有意義な1ヶ月でした。皆さんに出会って本当にうれしかったです。一生の思い出になりました。

和曉潔（ホーシャオジャ） 【平成19年度 第17次日本語研修生】

私は現在、トヨタ自動車研究開発センターに勤めています。会社は中国江蘇（こうそ）省の常熟（チャンシュー）市にあります。昨年度までは購買管理及び社内監査関係の仕事をやっていましたが、若いうちに新しいことをたくさん身につけるため、妊娠をきっかけに、財務への異動を申請しました。

財務の仕事は専門的で、一から学ばないといけないことが多いです。専門ではない私にとっては人より倍の努力が必要です。特に、産休より復帰したばかりの自分にとって、仕事と家庭のバランスを取ることは大きなチャレンジとなっています。正直に言えば、苦しい時が確かにあります。その反面、新しいことが学べた達成感を味わいながら、充実した毎日を送っています。

生活の中で、最近の一番大きな変化としては、母親になったことです。たくさんの困難を乗り越えて迎えた命なので、大切にしています。子供は親の心の奥の一番柔らかい部分でもあり、親を強く成長させる元でもある、ということは自分が母親になって初めて体験できました。いくら仕事が大変でも、家に帰って、子供の笑顔を見れば、すべての悩み事がなくなります。子供に授乳のため、朝の早起きもそれほど難しいことではなくなった…こんなに誰かのために自らを変えていくとは夢にも思いませんでした。

これからは仕事より生活の中心を家庭に移し、育児と親孝行をしたいと思っています。子供はもうすぐ9ヶ月になりますが、母親としてまだ不合格なところがいっぱいあります。子供に認められるいい母親になりたいと思っています。その第一歩としては時間を作って、子供と一緒に遊べる母親になることです。

また今年自分の母親が病気になったことで、親はもう年になったことを初めて認識しました。「親孝行したい時に親はいない」と後悔しないよう、今年から、長い連休があれば、親に会いに行くことを決めました。



和田山での思い出を振り返ってみますとすでに10年前のことですが、当時、まだ大学生だった自分はすでに「中年人」になりました。目を閉じたら、緑がいっぱい、新鮮な空気、自然に恵まれている町の様子が頭の中に浮かびます。機会があれば、本当にもう一度行きたいです。

それに、いくら時間が経つとしても、和田山でお世話になった寺澤お爺ちゃん、お婆ちゃん、山田お父さん、お母さん、皆さんのことは一生忘れられないです。和田山にいた1ヶ月は一生の宝物です。



胡梢さんと和暁潔さんに
上海で再会！
(平成27年度訪問団)

胡成林（フーチョンリン） 【平成23年度 第21次日本語研修生】

私は、2018年8月から中国の短期日本語学校で言語の教師として働いています。モンゴル語、中国語、日本語の初級を教えることができます。言語を教えることが面白いです。短期日本語学校で教師を続けるために、これからも頑張りたいと思います。



日本での研修、勉強など、いろいろしたことを思い出すと、また機会があれば日本に行きたいと感じます。

和田山での研修期間の写真をいつも持っていて、いい思い出として残しています。ちょうどこの季節になって涼しくなると、初めて日本のラーメンを食べた時のことを思い出します。

日常会話に困っていたとき、日本語を教えていただいたこと、初めて海へ行って遊んだことなど、和田山でのことを全部覚えています。人生で初めてのことをたくさん経験しました。心から感謝しております。誠にありがとうございました。



あさご日本語教室で
熱心に学びました！

伊麗娜（イリナ） 【平成24年度 第22次日本語研修生】

私は今、内モンゴル包頭（パオトウ）市の「サイハントラ」というところで働いています。サイハントラとは美しい草原という意味です。包頭市の中心地に位置し、夏は木や草花が茂っていてとてもきれいです。現在ガイドを務めていて、指導者やお客様を案内します。

たまには日本の友人がここに来られることもあります。もしいつか、和田山の方々がここに旅行に来てくださったらどんなに嬉しいことだろうといつも思っています。このことを楽しみにしていますよ。真剣に皆さんを招待します。

仕事の暇な時、私はモンゴルの特色があるレストランでアルバイトをして踊っています。この仕事が好きです。そこで私の彼氏と付き合うようになりました。彼は以前に日本語を学んだことがあります。二人とも共通の趣味があるので彼が好きです。

今、私は教師の資格証を取っています。これから、先生になるつもりです。今の仕事はいいですが私はもっと先生の職業が好きです。若い人はもっと頑張るべきだと思います。もし、試験に合格できなかつたら、自分で日本語を教えるところで仕事をしたいと思っています。しかし、卒業してから日本語を使うチャンスはますます少なくなってきました。自分の日本語についての知識を豊かにするために、日本でしばらく勉強する計画もあります。

学校で研修生として和田山に行って学んだことは今の私にとって最大の宝物です。私はテキストで勉強出来ない知識をたくさん学ぶことが出来ました。みんな懐かしく思い、みんなとコンタクトを取りたいと思います。しかし、仕事が忙しくて、日本語の能力がますます落ちてきて、だんだんと連絡ができなくなってきました。本当に申し訳ありません。もし機会があれば、私は和田山に会いに行きます。最後に、皆さんと再会できることを楽しみにしています。



日本の子どもたちも
内蒙古の文化に興味津々でした



包金蘭（バオジンラン）【平成25年度 第23次日本語研修生（日本語教師）】

2013年10月、呼斯乐（フスリ）君と趙文健（チョウウエンジェン）君と3人、朝来市の和田山へ行ってもう4年になりました。私だけ短い10日間の滞在でしたが、生涯忘れられないいい思い出となりました。

高度に発達した科学技術、経済発展で世界の注目を浴びる日本は面積が内モンゴルの3分の1しかないし、人口は1億3000万人程の“小さな国”、どうやって世界のトップクラスになったのかと不思議に思いました。

都会の喧騒を離れ、四方が山に囲まれた美しいこの町、和田山の風景に魅了されていました。日本人の真面目な、辛抱強く丁寧な仕事の仕方を見ました。自分の目で見たり、その文化を体験したりして、本当に日本の、和田山の人々に尊敬の念を感じています。



私は今、フフホト民族学院の外国語学部で日本語を教えています。これからももっと多くの人々に日本の文化を理解させるために頑張ります。

家庭では、来年、娘が大学に入ります。日本についてのいろいろな思い出を娘によく話したので、大学ではできれば日本語を専攻して、将来日本へ留学するのが娘の夢です。娘が大学に入った後、私は日本へ行こうと今から準備をしています。



張林（チョウリン）【平成27年度 第24次日本語研修生】

和田山に行ったのはもう3年前のことですね。あっという間ですね。しかし、和田山のことはずっと私の心に残っています。

1ヶ月の研修で、いろいろなことを経験しました。勉強しながら、地域の皆さんとの交流を深めました。ホームステイしたり、いろいろな小・中学校を視察したり、観光もしたり、肉まんを作ったり、日本語教室まで行ったり、大変楽しく、充実した1ヶ月を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

私は、去年の4月から島根県立大学大学院で勉強しています。北京で大学院の試験を受けて、運が良かったのか合格しました。感謝しています。今は一生懸命卒論に取り組んでいます。もともと日本で数年



間就職したいと考えていましたが、私の力不足のため、失敗しました。先生と皆さんにお詫びしたいです。

卒業したら、中国に戻る予定です。就職については、やっぱり日本とのかかわりがある仕事が一番いいと考えています。せっかく2年間の留学経験もありますし、日系企業とかに就職して、出張などで日本に来られる仕事が一番いいと考えています。その時、また和田山にも行けますし。和田山の皆さんとの縁を切りたくないです。大切にしたいです。これからも頑張ります。

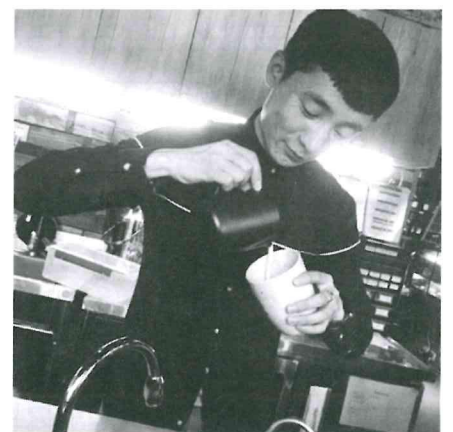
日本語だけでなく、日本の文化にも
たくさん触れることができました！



巴音塔拉（バインタラ）【平成28年度 第25次日本語研修生】

おかげさまで元気です。最近はいろいろありましたけどようやく元気が出ました！今は喫茶店で仕事をしながら学生たちにモンゴル語と日本語を教えています。時には翻訳の仕事もしています（日本語から中国語）。日本へ留学することは諦めていません。夢だからです。来年の3月末に行けそうです。

1ヶ月ほど和田山で研修したのは2年前のことでしたね。時は流れています。



私は昨年、島根県立大学の大学院の試験を受けましたが、残念ながら不合格でした。ですが、日本へ留学したい気持ちは揺らいでいません。

故郷での言語教師の仕事を断わり、フフホト市へ戻って4ヶ月ぐらい専門学校で日本語教師をしました。あと、7月中からフフホト市の喫茶店で仕事を始め今まで続いています。

元々は今年の10月に日本へ行くつもりだったのですがビザのことで延期となり、また来年となりました。日本へ留学する夢はあまり順調にはいかなかったのですが、両親の賛成があってほんとに嬉しいです。

和田山での経験は忘れがたいです。先生たちと皆さんにお世話になりました。ありがとうございました。和田山の先生たち、学校の皆さん、和田山の景色、美味しい料理、とても懐かしいです。来年、留学で日本へ行くとしたらぜひ和田山に行きたいです。

希吉日（シジリ）【平成28年度 第25次日本語研修生】



こんにちは！私は今、親友の結婚式を手伝うためにふるさとに来ています。

数日前まではフフホト市のレストランで働いていました。4月からずっとそこで勉強しながら働いていました。そして7月の日本語能力試験1級に合格しました。今は英語の単語とかを覚えています。レベル4は難しいと思いますが英語はもっと勉強した方がいいと思っています。できれば来年の英語レベル試験に挑戦したいです。

今はちょっと寒いです。昨夜は山の方で住んでいる親戚のところで雪が降ったそうです。どんどん寒くなり、和田山の秋を思い出しました。朝は雲の中みたいで澄んだ空気は大好きでした。寒くなり始める度に和田山に行ったのはだいたいこのごろだなんて思うのです。

和田山の皆さんは忙しくても優しく、一緒に過ごした時はとても楽しかったです。毎日新しい経験を体験することができて充実した1ヶ月でした。

空港へ私たちを迎えに来ていただき、そして寮から食堂まで、また市役所、竹田城跡、生野銀山、和田山中学校、小学校、こども園、ホームステイなどいろいろな懐かしい思い出ができました。ありがとうございました。京都、神戸、日本語教室、温泉、和服、お好み焼き、焼肉など書けば書ききれないほどあります。

和田山の皆さんにもう一度会いたいです。日本には来年3月ごろ行くつもりですが、その時またよろしくをお願いします。再会を楽しみにしております！



関西国際空港でお出迎え！

石帅（シシュワイ）【平成29年度 第26次日本語研修留学生】

ご無沙汰しています。おかげさまで元気です。卒業した後は東京の言語学校に行く予定でしたが、残念ながらビザが取れませんでした。いまは故郷の喫茶店でアルバイトしています。まだ留学ビザの申し込みを続けていて、来年の3月に東京に行けると思います。

和田山の研修は先進国日本の素晴らしい姿を見せていただきました。もう一度伺いたいと思います。



王济（オウザイ）【平成29年度 第26次日本語研修生】



お久しぶりです。おかげさまで元気です。日本での研修生活からもう1年になりました。先生たちにもう一度会いたいです。和田山の綺麗な風景や優しい人たちが、私の心に残っています。私は父が亡くなったので、今はマクドナルドで経理の仕事をしています。また必ず日本へ行きたいと思っています。

赵欣（チョウキン）【平成29年度 第26次日本語研修生】

私は現在、私が卒業した高校で働いています。研修の時の親切な先生、生徒たち、ホームステイのお父さんとお母さんに、大変お世話になりました。和田山であったことは忘れられません。

現在、私は教育の最前線でもう少し経験を蓄積したいと思っています。そして、もっと経験してから日本に留学して生活をしたいです。本当にありがとうございました。





緊張感溢れる選考面接



包萨茹拉（ホウサルラ）【平成29年度 第26次日本語研修生】

私は今、北京で仕事をしています。今年の7月に日本語1級試験を受けて、日本語に関する仕事をしています。しばらくは、このまま日本語に関する仕事をする予定です。しかし、その後はどうするか、ちょっと迷っています。



私はいつも日本の景色を思い出します。秋の紅葉、寮の後ろの川や緑の山。日本のおいしい料理を食べに行ったことが懐かしいです。（特に鉄板焼きと日本酒）

そして、小学校や中学校を訪問してたくさんのことを学びました。あの時、私たちが先生にお世話になったことを感謝しています。これからチャンスがあれば、ぜひ日本に行きたいです。

会長から全員に
修了証書が手渡されました。



日本での研修の成果を
ひとりひとり報告します。

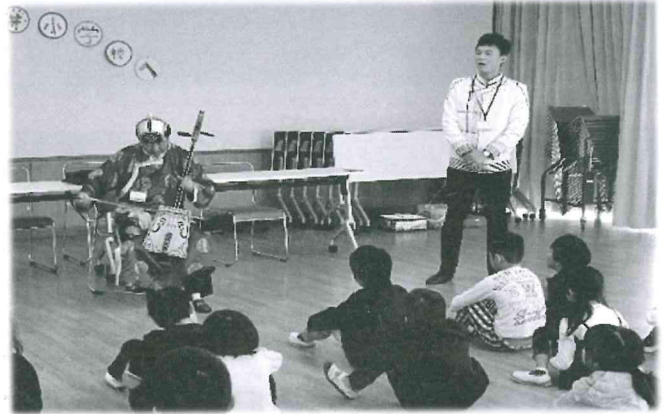


※研修生のレポートは、すべて2018年12月に執筆されたものです。

朝来市役所へ
表敬訪問



ホームステイ先で



会員・ホームステイに御協力いただける方を募集しています！

会員の皆さまのご友人、お知り合い等で国際交流の活動に興味や関心のある方をご紹介ください。事務局に御一報いただければ、役員が活動内容の説明にあがります。

また、2019年6月に行われる、国際草の根交流センター主催の『日米草の根交流サミット』において、約10名の方がアメリカから朝来市を訪れ、ホームステイされます。それに伴い、ホームステイ先の確保につきまして、御協力いただける方を募集しております。少しでも興味をお持ちの方は、事務局までお問い合わせください。

わだやま国際文化交流協会
事務局（朝来市和田山地域振興課内）
〒669-5292
朝来市和田山町東谷213-1
電話 079-672-6137

発行 2019年2月
印刷 藤原印刷所